

センター活用事例



うつつ菓子店

お客様に豊かな時間を
ビジュアルも味も
満足感のある商品づくり



自身の経験を糧に地元秋田で菓子店を開業

秋田市櫛山の「うつつ菓子店」は、2025年7月末に開業した焼き菓子をメインとした洋菓子店だ。オーナーである尾形真美さんは、高校卒業後から一貫して飲食業への興味を持ち続けていて、チェーン店カフェでの店舗運営を経験後、関西の製菓学校で菓子づくりの基本を本格的に学んだ。紆余曲折を経て能登に移り住み、店舗を持たないスタイルで焼き菓子を製造・販売していたが、2024年1月に能登半島地震で被災し、さらにその8ヵ月後、記録的豪雨による水害が起こったことがきっかけで、地元である秋田での暮らしを選んだ。現在営んでいる店舗は、シックで落ち着いた雰囲気、ショーケースには素材の良さにこだわった焼き菓子が並んでいる。能登に住んでいた頃は旅館の厨房で働いていた時期もあり、その際に培ったフルーツの飾り切りの技術を生かして、焼き菓子のほか、現在はフルーツタルトなどの生菓子も販売している。丁寧に作られたきらびやかな装飾が目目を引く「プリンアラモード」は運営する喫茶スペースでしか食べられない人気のメニュー。確実に味わいたいなら予約がおすすめだ。

よろず支援の客観的なアドバイスで不安解消

開業準備の際、融資を受けた金融機関の担当者から「尾形さんの商材はSNSでの宣伝に向いているのでは」と、そういった宣伝方法に強い専門家のいる秋田県よろず支援拠点への相談を提案された。早速相談すると、SNSマーケティングの専門家である担当コーディネーターに、具体的なオープン時期の設定や、提供するメニューに季節感を取り入れることなどをアドバイスされた。SNSでの発信内容はもちろんのこと、自らメディアに対しての売り込みをすることも助言を受けた。「ひとりで菓子製造と店舗の運営も行わなければならないため、市場調査をする時間はありませんでした。コーディネーターの方からさまざまな情報や客観的な意見をいただけるので、非常に心強く感じています。また、数字の面でもわからないことがあるときはよろず支援拠点に相談すれば、専門の方が対応してください。これからも頼りにしています」。開店から1年が経過し、尾形さんは今後も顧客との対話を大切にしながら試行錯誤を重ね、地域に愛される店を目指す。



おがた まなみ
尾形 真美

うつつ菓子店
〒010-0028
秋田市櫛山共和町5-4
<https://www.instagram.com/utsutsukashiten2025/>



Instagram

》》活用事例

秋田県よろず支援拠点

幅広い経営知識と高い専門性を有するコーディネーターが、相談者の課題を抽出把握して、課題解決を目指した提案に基づきチーム支援します。

[お問い合わせ]
秋田県よろず支援拠点
TEL. 018-860-5605



繊細な技術が必要なフルーツの飾り切り。
彩り鮮やかな盛り付けで尾形さんのセンスが光る。



ショーケースには焼き菓子が並び、人気はアプリコットとラズベリーのジャムが乗った「ジャムボールクッキー」。



喫茶は公式LINEでの受付のみで事前予約を推奨している。